



反応硬化形合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材 ダイヤエポネE1液型

一液形反応硬化形エポキシエマルジョンを採用することで従来の2液形複層塗材REの1液化を実現し、作業効率のアップを図りました。

- 特長
- 反応硬化形エポキシエマルジョンを採用しており、従来の2液タイプと同様に優れた付着性を示します。
 - 一液形なので取扱が簡単で、性能のバラツキがありません。
 - エポキシエマルジョンの反応硬化により強靱で耐久性に優れた塗膜を形成します。

参考：公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 令和4年版

吹付仕様

工程	材料	希釈割合	所要量	塗回数	乾燥時間		施工用具	
					工程内	工程間		
1	下地調整	下地に付着しているゴミ、汚れ、油脂類、レイトンス等は完全に除去して下さい。						
2	下塗り	ダイヤワイドシーラー	15kg	0.1kg/㎡以上	1	—	2時間以上	刷毛、エアレス、中毛ローラー
3	主材基層	ダイヤエポネE (1液型) 清 水	20kg 0.8~1.0 $\frac{kg}{㎡}$	0.7kg/㎡以上	1	—	4時間以上	タイルガン リシンガン
4	主材模様	ダイヤエポネE (1液型) 清 水	20kg 0~0.4 $\frac{kg}{㎡}$	0.8kg/㎡以上	1	—	24時間以上	タイルガン
5	上塗り*	ダイヤパーマールウレタン 清 水	16kg 0.8~1.6 $\frac{kg}{㎡}$	0.25kg/㎡以上	2	—	2時間以上	刷毛、エアレス、中毛ローラー
5	上塗り*	ダイヤパーマールシリコン 清 水	16kg 0.8~1.6 $\frac{kg}{㎡}$	0.25kg/㎡以上	2	—	2時間以上	刷毛、エアレス、中毛ローラー

ゆず肌仕様

工程	材料	希釈割合	所要量	塗回数	乾燥時間		施工用具	
					工程内	工程間		
1	下地調整	下地に付着しているゴミ、汚れ、油脂類、レイトンス等は完全に除去して下さい。						
2	下塗り	ダイヤワイドシーラー	15kg	0.1kg/㎡以上	1	—	2時間以上	刷毛 中毛ローラー
3	主材塗り	ダイヤエポネE (1液型) 清 水	20kg 0.8~1.2 $\frac{kg}{㎡}$	1.0kg/㎡以上	1~2	16時間以上	24時間以上	多孔質ローラー
4	上塗り*	ダイヤパーマールウレタン 清 水	16kg 0.8~1.6 $\frac{kg}{㎡}$	0.25kg/㎡以上	2	2時間以上	—	刷毛 中毛ローラー
4	上塗り*	ダイヤパーマールシリコン 清 水	16kg 0.8~1.6 $\frac{kg}{㎡}$	0.25kg/㎡以上	2	2時間以上	—	刷毛 中毛ローラー

※上塗材は各種水系、溶剤、弱溶剤系仕上材が施工可能です。お問い合わせ下さい。

適応下地

- コンクリート、モルタル面、PC板、窯業系押出し成型板、ALC版などの各種ボード
- 施工・管理上の注意

【塗装面の調整(新設)】

- ①素地に付着している塵、汚れ、油脂類、レイトンス等を完全に除去して下さい。
- ②セメント質下地は、表面の含水率10%以下(pH10以下)になるまで放置して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥期間は、夏期で1週間、冬期で2週間以上必要です。コンクリート下地は、夏期で2週間、冬期で3週間以上乾燥が必要です。
- ③雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。
- ④PCパネル、現場打ちコンクリートの場合
 - 1)豆板、木コ、後継箇所、不陸などはセメンヤス#2000、セメンヤス#2500等の下地調整材を使用し、補修して平滑にして下さい。
 - 2)表面が緻密でレイトンス層がある場合は、レイトンスを除去し、ダイヤガンコーシャー又は、ダイヤシーラーエポをご使用下さい。
- ⑤ALCパネルの場合
 - 1)ダイヤカチオンフリーを塗布して下さい。
- ⑥【塗装面の調整(新設/改修共通)】
 - 1)屋上防水、目地排水管など水の浸透が予想される箇所については、事前に十分点検し適切な処置をして下さい。
 - 2)使用シーリング材の種類により塗膜のひび割れ、剥離、ブリード等の異常を生じる場合があります。あらかじめ塗装仕様を確認して下さい。
- ⑦【塗装面の調整(改修)】
 - 1)各現場の改修工事仕様に基づき劣化部分の補修や既存塗膜の処理(ケレン、清掃、高圧水洗浄)などを行って下さい。
 - 2)脆弱層が厚い場合には、取り除いてから施工して下さい。
 - 3)チョーキングは、サンダー、ワイヤブラシ等でケレン後、高圧水洗浄で除去して下さい。
 - 4)既存塗膜の劣化が著しい場合、また既存塗膜がセメント系の場合には、高圧水洗浄後にダイヤガンコーシャーまたはダイヤワイドシーラーを塗布して下さい。
- ⑧【材料の保管・管理】
 - 1)開封した材料は必ず密封し、直射日光や雨湿を避けて保管して下さい。
 - 2)材料の保管は凍結や温度上昇による変質を避けるため、気温5~35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。
- ⑨【施工】
 - 1)気温5℃以下、降雨、降雪、強風(下および湿度85%以上)の場合、または予想される場合には施工を避けて下さい。また作業後、降雨、降雪の恐れがある時は(雪)養生をし

- ⑩ 下さい。
- ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

- ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

製品・工法に関するお問い合わせはホームページのブランドサイト <https://www.dia-dyflex.jp/>にてご確認のうえ各地域のオフィスまでお願い申し上げます。

2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社に統合され、新たに **シーカ・ジャパン株式会社** としてスタートいたしました。